

明新社(奈良) きょう創業150年

奈良市南京終町3丁目の印刷会社「明新社」は18日、創業150年を迎えた。7代目に当たる乾昌弘社長(63)にこれまでの歩みと今後の展望を聞いた。

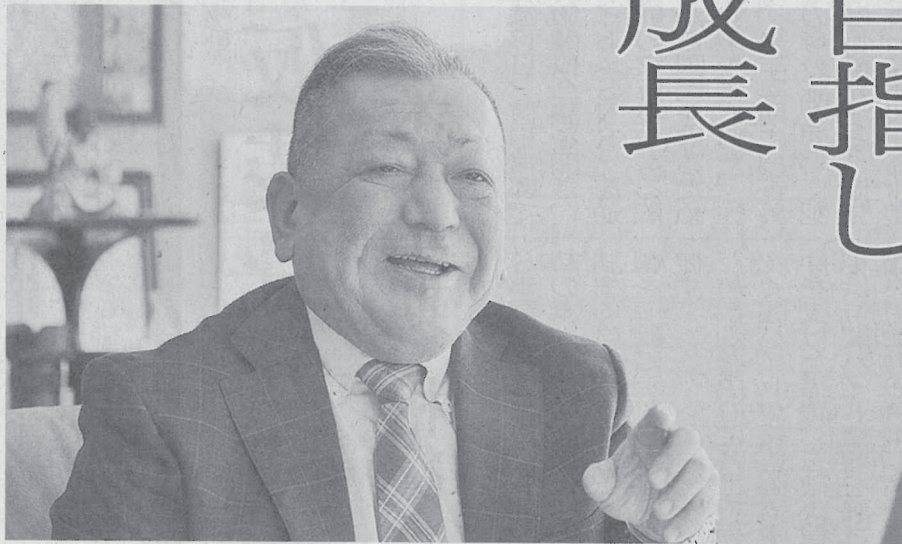
「地域商社」目指し 挑戦・貢献・成長

■印刷界の王者

同社の創業は明治時代にさかのぼる。江戸から明治へと社会が大きく変化していった1874(明治7)年、「阪田購文堂」として産声を上げた。

今で言う教科書「単語」の出版を奈良県から請け負い、1886年には印刷部門を分離、屋号に「明新社」を掲げた。乾家が経営を担うようになるのは乾社長の曾祖父、乾善兵衛の時。創業家3代目・阪田一郎から経営を引き継いだ。当時の新聞記事には「印

乾昌弘社長に聞く



「『地域商社』を目指す」と話す乾社長。奈良市南京終町の明新社

「苦しい時も常に前を」

印刷界の王者 明新社の飛躍「の見出しが踊る。善兵衛の長男・太郎(5代目)は奈良商工会議所などで要職を務め、紺綬褒章を受章するなど地域振興に尽力した。

現社長の乾氏は創業から数えて7代目。父の嘉平氏(6代目)は東京都出身で郵政省に入省し、一級建築士の資格を持つエリートだった。

嘉平氏の功績の一つは「オフセット印刷」の導入。活版印刷が主流だった時代で、社員の反対を押し切ったの決断だった。これにより、印刷のコストカットとスピード化にいち早く成功、社業をさらに発展させた。

■シビックプライド
乾社長が経営を引き継い

だのは創業130年の年。「お客さまの課題解決パートナー」となることを宣言し、印刷以外の業態にも進出した。奈良でおなじみのご当地ヒーロー「YAMATO超人ライガー」を企画・制作するなど、地域のイベントプロモーションにも積極的に関わった。

150年を迎えた今年、乾社長は新しい経営理念を「挑戦する。貢献する。成長する。」、サブタイトルを「明るく・楽しく・ユニークに」とした。「苦しい時でも常に前を向きたい」。大切な心構えをサブタイトルに込めた。

乾社長は「自社と共に地域の発展に尽力してきたのが当社の歴史。これから目指すのは『地域商社』で、シビックプライドがそのエンジンとなる。地域を巻き込んで機運醸成に寄与したい」と力を込めた。